

2014年度 第3回 常任幹事会議事録

●日時
2014年11月29日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
勝山昌幸〔常任〕
大野美菜子〔常任〕
藤原成理〔常任〕

●委任欠席者(カッコ内→代理人)
竹島 巍
日野 高(秋元)
桜井裕美(秋元)
大村政幸(秋元)
松岡和彦
永吉昭浩
角谷祥子
富澤和治
山田直毅
軽込孝信

常任幹事 出席者 11名
委任幹事 欠席者 10名
(常任幹事21/25名 定足数成立)

●議事進行:藤原成理

●議事録
書記:長根小夏

校正・制作・文責:
秋元圭一、大村政幸

■議題

- 1 同窓会ニュース・アサビブリッジセミナーについて
- 2 コラボ企画について
- 3 その他・意見交換

■はじめに

出欠確認の後、前回会議の議事録は承認を受けてasabi-netへアップ予定との報告があった。

■議題 1 同窓会ニュース・アサビブリッジセミナーについて

◎同窓会ニュースについて、秋元会長から日程等に関するプリントが配布され、報告があった。
9/24・データアップ、入稿。9/30・DM会社へ宛名データ送付。10/2・印刷上がり→発送。10/03・DM会社着。
10/7・郵便局より発送で完了した。発送総数3,184通のうち、住所不明による戻りが約83通。
11/26現在の支出298,993円、勝山氏へのデザイン作成料、振込手数料等の最終報告は来年する予定。
予算380,000円のうち50,000円くらいの余りを『さんよん会2』にまわしたい。

◎アサビブリッジセミナーについて、西田氏より報告があった。

2014アサビブリッジセミナー:2014/10/26(日) 講演会タイトル:「ゲームの現在(いま)、ゲームの明日(あす)」
講演者:ゲームデザイナー/高山賢幸さん・アートディレクター/菊地悟さん 司会:松岡和彦さん
設営:西田、浜村、勝山 記録撮影:三好、大村 受付:桜井、大野
入場者:26名(一般、同窓生、在校生。委員含まず) 他に、学校からの取材者2名。

・今回はスケジュールがぎりぎりでの十分な告知ができなかった。
・大村氏の携帯から、過去のWEB申込者のうち253名へ案内メールを送信した(送信不可42名)
・松岡氏の報告書を配布し、今年のフェスタは学生主体で運営していたため持ち場が離れられず、セミナーを見に来れなかったことや、「アサビフェスタでの講演会は来年度以降は廃止も考慮に入れ、卒展・修了展への協力を模索することが、アサビブリッジのひとつの方向ではないか」という意見を報告した。
・「高山さんは会社からの意向で講演料はいただけないということだったので、講師料30,000円を40,000円にして、菊池さんにお渡しして分けていただくことにしたい」と述べ、全会一致で承認された。

その後、「せっかくゲーム業界から人が来てくれているのに、学生が見に来てくれないのは勿体ないので、やはり卒展でイベントをやった方が良い」「プロで活躍している方や講師をリスト化して、準備しておいた方が良いと思う。忙しい方は1年前からお願いしておかないと来てもらえない場合もある」「参加者のうち、学生を除いた25名はどんな方だったか」「会社関連の方が多かったが、詳しくはわからない」「どんな人が来てくれたのかという内訳があると次回にも繋げ易いので、アンケート等があると良い」「在校生がどれくらいセミナーの存在を知っているか等も調べた方が良い」等の意見が続き、アサビブリッジの今後について継続検討の運びとした。

■議題 2 コラボ企画について

◎『まんが計画②』について、小山氏は「展示会を無事に終了する事ができました。皆様のご協力、ご支援ありがとうございました」とお礼を述べ、中間報告書を配布して説明した。

2014年11月03日[月]~11月08日[土]に人形町ヴィジョンズにて展示会を開催した。参加者37名で、31名が冊子と展示(前回展示29名)、6名が展示のみ。冊子(164ページ)の売上は80冊で、アサビの購買部「アサビス」での販売が決定している(前回は144ページで77冊の売上)。来場者数は初日を除くと88名で、初日を入れると前回の約120名を大幅に超える入場者数だった。11/8現在の仮決算:△7,004円(前回△7,380円) 来年の3月までに内容と決算の最終報告を予定。

「参加者の雰囲気も和み、展示も安定してきた。運営方法についてもノウハウが蓄積し、第③弾も新しい方々を取り込んで進めたいと思っており、準備を進めて良いかご判断いただきたい」と述べた後、質疑応答に入った。
大野氏は「前回と今回の残り200冊ほどを、創作系同人誌即売会に出てみてはどうか」と述べ、即売会の詳細を小山氏へ後日連絡することとした。「次の冊子には目次、参加者のプロフィールが入っていると良いと思う」「人気投票を行ってみると良いのでは」「作品を読んでいる人がどう思っているのか気になる」

FacebookやHPについての質問に小山氏は「Facebookは同窓会のものを使用、HPはレンタルサーバーが無料のものを使っている」と述べた。「今までの作品がネット上で見られたり、告知もできると良いと思う。データで原稿を受け取ったりもできるのではないか」「ペンネームだと会員名簿で検索できないので、議事録として出品者の名前を残してはどうか」秋元会長は「色々な案が思い浮かぶが、負担や責任と予算のこともある中で、どこまで出来るのかを小山氏や甲斐氏から逆提案という形で出してもらえればと思う」と述べた。

「出品者のURLなどがわかるメリットがあるのではないか」「開催後のレスポンスの受け皿としても、HPの必要性を感じる」「次回開催までにカミングスーンのようなページを出しておくだけでも良いのでは」「asabi-netの中にまんが計画のページを持ってないか」「電子書籍化などはどうだろう」等の意見があった。

まんが計画③の開催について、全会一致で承認を得、準備を進める事とした。

◎『さんよん会2』について、小山氏よりプリント配布と説明があり、意見が交換された。

「さんよん会とは、同窓会が協力して小さな同窓会を行う企画。学校見学で現在のアサビの様子を知ってもらったり、名簿を充実させたいという目的もある」「前回の記録は残っているか」「ファイルにまとめてある」「さんよん会で出た話に興味がある。アサビ初期の頃の話は貴重で、その積み重ねがあって今がある。学校から取材する人を連れて行くのはどうか。これからさんよん会を続けていってどうなるのかという事にも気になる」「学校側から取材の人を呼ぶのはできると思うが、同窓会ではそこまではできない」「負担は大変だけれどやる意義はある」「例えば今年卒業したばかりの人たちが、クラス会を開きたいがどうしたらいいかわからないという場合等に補佐をするのが同窓会の役目で、同窓会側からクラス会を開きますよということはない」「意図としては、これをきっかけにクラスの名簿を作ってくれたりとか、そういう繋がりができれば良いということですよ」「前回は何人かが中心になって人を集めてくれた」「スタッフも自腹をきってやってくれている。もし赤字になった場合にどこが払うかという問題もある」「型にはまったことでどうということではなく、1回目のさんよん会は、こういうことをしたらどうなるのかということで行った。これからどうするのかと言ってもまだ2回目なので、様子を見ないことには仕方ない。集まってくれる人達が動いてくれることが全くないというのであればやらなくても良いと思う。あまり集める年代を広げすぎると、大人数になってしまうし、開催の間隔をあけてしまうと4年に1回やっているパーティと変わらなくなる」「もし、自分達の年代の人を集めて先生と同窓会をやりたいといった場合、同窓会からの協力はいただけるだろうか」「やりたいという提案に協力はできるが、同窓会が全てに係ることはできない」「さんよん会の活動は、アサビブリッジと同じようにプロジェクトとして予算を設けるべきではないか」「どこかの学年や年代から、こういう同窓会をやりたいです、このくらいの人を集められそう、というのを調査してはどうか」と意見が続くと、甲斐氏は「さんよん会をやりたいと思ったきっかけは、長く続いてきたアサビの歴史の中で、初期の方々のお話を聞いてみたいと思ったから。これからどうしたらいいかは、2回3回と続けてみなければわからないと思う」と述べ、「記録をとることは同窓会にもメリットがあると思う」との意見に「もっと気楽に考えても良いと思う。記録よりも人が大事なのであって、そこまでなくてもいいと思う」と答えた。

開催日については調整の運びとした。

■議題 3 その他・意見交換

甲斐氏より、『まんが計画②』と『朝の会展』への協力へのお礼が述べられた。

次回日程:2015年1月31日(土) 15:00~17:00 2014年度第4回常任幹事会と報告され、議会は閉会した。